



2022 年 10 月 28 日

住友三井オートサービス株式会社

SMA サポート株式会社

SCSK 株式会社

名古屋支店における企業間 EV カーシェアリング実証実験開始

住友三井オートサービス株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 佐藤 計）以下「SMAS（エスマス）」は SCSK 株式会社（本社：東京都江東区 代表取締役 執行役員 社長 當麻 隆昭、以下「SCSK」（証券コード：9719））及び、SMAS の子会社である SMA サポート株式会社（本社：東京都新宿区 代表取締役社長 佐藤 計「以下（サポート）」の 3 社において、今後需要が見込まれる、企業間 EV カーシェアリングサービスの構築に向け、2021 年 7 月から実施している SMAS 福岡支店に続き、同一ビル内に入居している SMAS 名古屋支店及び SCSK 中部支社との間で、企業間 EV カーシェアリングの実証実験を開始しました。

実証実験の概要

1. 背景・目的

テレワークの普及など働き方改革に伴い社用車の利用機会が減少しつつある中で、多くの企業で固定費削減のため、社用車の削減やカーシェアへの移行ニーズがあります。利用機会の減少により稼働率の低下したクルマを、同じビルに入居する企業間でカーシェアリングを行うことで、社用車を必要とする企業の負担低減を可能にします。また、複数社で EV を共同利用することで、EV 導入コストを抑え、脱炭素の推進を可能にします。本取り組みは、具体的なスキームの作成、システムの検証、メンテナンスなどの運営体制を構築し、企業間 EV カーシェアリングサービスとして事業化することを目的としています。

2. 期間・場所

2022 年 10 月 3 日（月）～2022 年 12 月 28 日（水）（予定）

名古屋市中区 SC 伏見ビルディング

3. 検証内容

①企業間 EV カーシェアリング

同じビル内に拠点を構える SMAS 名古屋支店及び SCSK 中部支社の 2 社間で平日の業務時間に車両をシェアリングし、企業間 EV カーシェアリングの事業性や利便性、ユーザビリティを検証します。

また、同時に空き時間を利用し、カーシェアリングにおける EV メンテナンスの実効性についても検証します。

② システム面

SMAS が開発し、サポートが提供している車両管理アプリ「モビリティパスポート」を利用し、アプリ機能やユーザビリティを確認し、事業化へ向けたスキームの構築を目指します。

今回の実証実験により、SMAS では、2023 年度に企業間 EV カーシェアリングサービスのリリースを目指すと共に、積極的な EV の導入・利用により、新たな価値提供とカーボンニュートラルの両立を目指しています。



実証実験開始記念撮影

左：SMAS 中川中部北陸営業本部長 右：SCSK 田辺中部支社長